

議 事 概 要

会議名	第 2 1 回 海津市地域公共交通会議
日時	令和 2 年 3 月 1 1 日 (木) 1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 2 0
場所	海津総合福祉会館「ひまわり」2 階 研修室 2
出席者	委員 2 0 名 事務局 3 名
傍聴人	3 名
議題等	議題 1 第 2 次海津市地域公共交通網形成計画 (案) について その他

協議・報告事項

【議題 1】 第 2 次海津市地域公共交通網形成計画 (案) について

○事務局から説明 (資料 1 - 1 ・ 資料 1 - 2 に基づき説明)

- ・ 資料 1 - 1 第 2 次海津市地域公共交通網形成計画 修正対応一覧表
- ・ 資料 1 - 2 第 2 次海津市地域公共交通網形成計画 (案)

○委員からの質問・回答、意見等 (→事務局回答、 他委員回答)

- ・ 10 ページに養老鉄道の記載について、「利用者は、平成 28 年度からの 3 年間は増加しており」というところがあるが、27 年度からまた 600 万人と再浮上して、30 年度まで増え続けていると思うので、一度ご確認をしていただきたい。

→確認して、対応いたします。

- ・ 66 ページで、海津線のお千代保稲荷まで延長運転されていて、その修正の理由は名阪近鉄に確認されてということでしょうか。

→確認いたしました。

- ・ 34 ページの 3 . 1 . 3 の (2) の目標達成状況ですが、「目標値の設定に至りませんでした」となっています。「目標値の確定」ではないかと思うのですが、設定されていなかったということでしょうか。

→目標指標の中の、評価にあるように、市内 10 地区のうち、各地区において目標値を設定するまでに至らなかったということです。

- ・ 目標値を定めることが目標ということですか。

→目標値を定めたかったのですが、現状からそこまで至りませんでした。

- ・ デマンド交通とタクシーとの一体化というのが 60 ページにあります。これはどのような形を想定されているのか。例えば神戸町の「バラタク」というようなことを想定されているのでしょうか。もう一つ、66 ページの「イベント開催時に運行しているシャトルバスの運行をさらに拡大します」となっていますが、現在やっている運行実績がひがん花祭りとさくら祭り、今後想定される運行として海津市産業感謝祭と海津市夏祭りと

なっていますが、海津市民の方のためのイベントだと思うので、海津市民がたくさん来られるような形のイベントバスを運行していただきたい。

具体的には、海津市内の海津町、平田町のほうからも現場に来られるような形のイベントバスを考えていただけるとありがたい。

→ 60 ページのタクシーとの関係性について、を現在 5 台でデマンドを運行しております。しかし、時間帯また曜日等によっては偏った利用状態にあり、利用状況によって補えない部分をタクシー等でフォローできないかと考えています。今後、検討していきます。

66 ページのシャトルバスの件ですが、参加される方にやさしい交通手段というものを考えており、担当課や実行委員会、主催者などと話を詰めていきたいと考えています。

- ・意見交換会が開催できなかったということであれば、議論のスタートラインに立てなかったような感じに聞こえる。それに対して、今回の計画でも、市民の方に積極的に開示していただいているというところがかなり前に出ているので、今回の計画の反省を踏まえてどう取り組んでいくのかをお聞きしたい。

また、72 ページの支出額について、やはりデマンドタクシーが特定の方に使われてしまって、不特定多数にサービスすべきじゃないかという公共交通の意義づけと、いわゆる福祉的、福祉移動的な特定の方へのサービスというものをきっちり分けたほうがいいのではないかというような考え方に対して、この支出額はどのように達成されていくと考えればよいか。

→ 1 点目について、今年度、市では「タウンミーティング」という制度をつくり、市民と市との情報の共有という事業を来年度から実施していくこととしており、それを活用していきたいと考えています。

2 点目について、市民 1 人あたりの財政支出額 7,500 円につきましても、下の段の 430 円につきましても、福祉の部分も入っているということです。

- ・ 2 点目について、結局それを一緒に計算すると分からなくなりませんか。メインの目的が、公共交通を展開する中でサービスと考えると、その効率性を上げていく必要がある。福祉ももちろん大事ですし、公共サービスであることは当然ですが、そこはどうしても 1 人あたりの単価が高くなるというのは仕方ない。そう考えたとき、これを分けた上で公共交通サービスをより効率的にできるかどうかというところの 1 人あたりのサービスの額と見たほうが、しっかり評価できるのではないかと思ったのですが、いかがですか。

→ 今後、デマンドの構想に沿ったときには分けてみていきたいと考えています。

- ・ 令和元年度の事業評価報告書の中に、コミュニティバスの運行について、利用者に関わる施策とともに、運行会社から費用内容の確認をしたほうがいいとあるが、この盛り込まれた費用について、計画に入れたらどうか。

→ 運行会社の経常的な部分はよいが、計画に加味するのはなじまないと考えています。

- ・パブリックコメントの中で、市役所のバスの発車時刻がばらばらで使いにくいというご指摘がありました。これは非常にいい指摘だと思うので、時間ごとに同じような発車時間に、20分なら20分というような形のパターン化された時刻表、こういうのが非常に使いやすいと思うので、今後バスの時刻表を設定されるときに、パターン化された時刻表をつくれるといいのではないかと思います。

- ・コミュニティバスの海津羽島線のダイヤですが、下り線で新大阪に夜の便で行くと、大体毎時、19時27分に着いて、19時30分に新幹線が羽島駅で3分間停車する。20時27分も同じく20時27分に着いて20時30分発になっています。海津市のコミュニティバスの出発が同じく毎時27分発になっており、新幹線が着いたと同時にコミュニティバスも石津に向いて出発しているということは、市民の足にも大変不便だと思います。今度その点に気をつけてダイヤ改正をしていただけたらと思います。

- ・59ページのデマンドですが、これは4つのゾーンに分けて運賃の改定をすると書いてあるが、これはゾーンごとにデマンドバスを配置するということか。そこから全部、配置するのだったらいろいろむだな時間ができるのではないかと思います。4つのゾーンごとに配置したほうがいいと思うが、いかがでしょうか。

→今後デマンドの構成につきましては、足の短い交通にしたいと考えています。ある程度ゾーン分けをして、多くの人に乘っていただきたいと考えています。今後、皆さんと協議していくことが前提ですが、今現在の考え方ということでご理解ください。

○原案どおり承認

その他

○事務局からの連絡事項

- ・地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会の二次評価について
- ・次回の公共交通会議は3月11日に開催予定

閉会